

研究名：Stage IV胃がんにおけるConversion therapy (Adjuvant surgery)の意義に関する
国際多施設共同後ろ向き研究

主研究機関名：岐阜大学腫瘍外科

研究機関：アジア臨床腫瘍学会連合 FACO (Federation of Asian Clinical Oncology)

日本癌治療学会 (Japan Society of Clinical Oncology)

韓国臨床腫瘍学会 (Korean Association for Clinical Oncology)

中国臨床腫瘍学会 (Chinese Society of Clinical Oncology)

研究内容：本研究の目的は、アジアでの Stage IV 胃がんに対する Conversion therapy (根治手術ができない胃がんに対し、化学療法を実施することで治癒切除可能となること)の現状を明らかとすること、Conversion therapy の妥当性を検証すること、将来的な Conversion therapy の意義を明らかとする研究の基礎的データを収集することです。

田附興風会医学研究所 北野病院を含め、日本、韓国、中国の医療施設において、2001年1月1日から2014年12月31日に手術を施行した Stage IV の胃がん患者さんのデータを使用させていただきます。

調査予定期間は2016年5月(倫理委員会承認後)から2017年3月です。現在受診されていない患者さんについてはご紹介した医療機関に現状を確認することがございます。年齢や性別といった患者さんの基本データ、がんのステージや、化学療法の種類や期間、治療効果、手術日時や方法、病理検査結果、術後合併症、生存期間といった治療のデータをアジア臨床腫瘍学会連合 FACO 研究事務局に提出し、集計を行います。データセンターは岐阜大学医学部附属病院先端医療・臨床研究推進センターに設置されます。

氏名や病院の診察券番号などの個人情報提出されません。匿名化情報は北野病院内で管理されます。個人情報を研究組織から外部へ提供することや、この研究の目的以外に使われることはありません。また、研究発表に際しお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

研究計画書、及び研究の方法に関する資料を、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等で支障がない範囲内で閲覧することが可能です。研究対象とならないことを希望する際にはご連絡をいただければ、データの提供の停止や情報の削除が可能です。お問い合わせは、田附興風会医学研究所 北野病院 消化器センター外科 上田修吾(06-6312-8831)にお願いします。